



令和3年7月1日（木）発行

# 学校だより No.5

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》 ○ 向学 ……自ら学ぶ生徒  
○ 礼節 ……思いやりのある生徒  
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

## 1学期のまとめの7月になりました！！

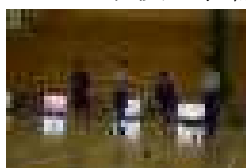
4月7日に始まった1学期も7月に入り、残り約3週間となりました。期末テストも終わり、明日から市総体が始まります。あわただしい学期末となりますが、最後の約3週間で1学期のまとめをしっかりとやってほしいと思います。

さて、「まとめ」とよく言いますが、具体的には何をすれば「まとめ」になるのでしょうか。まず、「やる気・勇気・根気」について振り返り、課題を明確にした上でその解決が図れる取組をしていきましょう。次に、4月当初に立てた各自の目標の達成に向けた取組の振り返りをして、足りないと思うことをこの約3週間で実践していくことが大切です。逆に、よくできたと思うことを更に伸ばすための取組も進めていきましょう。

以上のことを各自が自分事として考え、1学期のまとめに具体的に取り組みましょう。「まとめ」が単なるかけ声で終わらないように、1学期の終業式を迎えたときに、「1学期のまとめがしっかり出来た」と言えるように、そして1学期のまとめが充実した夏休みと2学期のよいスタートに繋がるようにしていきましょう。

## 「ボッチャ」の楽しさを体験（2年総合の福祉学習より）

2年生の総合学習（福祉学習）の一環で、「ボッチャ体験教室」を実施しました。市社会福祉協議会の星野 智佳子さんと立木 裕也さんを講師にお招きし、まずはボッチャの特徴やルールなどを教えてもらいました。ボッチャは、唯一パラリンピックだけに採用されている競技で、誰もが一緒に楽しめる競技だと教えていただきました。

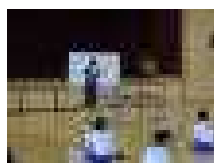


次に、実際にボッチャを体験してみました。投げ方を工夫したり作戦を考えたりして、お互いに協力し合いながら楽しく取り組みました。

実際にやってみると、ボッチャの楽しさや奥深さを体感するとともに、障害の有る無しにかかわらず一つのことを一緒に楽しみながら取り組むことで、共存する社会を創っていけることを学びました。

## 働くために必要なこと（1年総合の職業学習より）

講師にハローワーク沼田の金嶋倫典所長さんと就職支援ナビゲーターの木本里美さんをお招きし、将来について考えるきっかけとなる1年総合の「職業講話」が行われました。講話の中で、「ラーメンが自分のテーブルに置かれるまでに関わる人達はどんな人がいるだろうか」という問題が出され、生徒達が真剣に考えていました。料理をする人・店員さん・農家を営む人・漁業を営む人・食材を運ぶ人など、多くの人の努力が繋がってできていることが分かりました。



最後に、将来に向けて中学校生活で大切なことは、「挨拶と返事・笑顔・積極性・日々の積み重ね」だと教えていただきました。

## より良い沼田西中にするために（学校評議員会より）

学校運営の改善に向け、それぞれのお立場からご意見を聞かせていただく「学校評議員会」が、新型コロナ対策を講じながら6月4日（金）に開催されました。最初に、各クラスの授業を新型コロナ対策のため廊下から参観していただき、その後、本年度の学校の取組の方向性や具体的取組内容を説明し、それに対して様々なご意見をいただきました。授業を参観した感想では、「**多くの授業でICTを活用して工夫した授業が行われていた**」というご意見をいただきました。また、本校で取り組んでいる新型コロナ感染予防対策について、「**とても丁寧に取り組んでいて安心した**」など高い評価をいただくことができました。熊等の獣害予防の取組では、生徒への注意喚起や保護者へのH&Sによる連絡等の方策をとっていますが、「**今年は熊の出没が多いようなので、今後も更に獣害予防を徹底してほしい**」というご意見をいただきました。



評議員の皆様からいただいたご意見を今後の学校運営の改善に繋げるとともに、保護者の皆様や地域の方々との連携を深めより良い沼田西中を創っていきたいと思います。

## ミニトマトを丹精込めて育てています＜2年技術科で利根実高出前講座＞



2年生の技術科の学習でミニトマトを育てています。ミニトマトがしっかり育つようと、6月9日（水）の2・3校時に利根実高の2名の先生に来校していただき、ミニトマトの栽培管理の出前講座を受けました。脇芽の摘芽や支柱に茎を紐で結ぶ方法などを教えていただきました。教えていただいたことを基に、各自が育てているミニトマトがよく育つようと実際に脇芽の摘芽などに取り組んでいました。片方のクラスが実習をしている時には、もう片方のクラスは技術科室で講義を受けていました。

私もその授業を参観させていただきましたが、**一人一人が目を輝かせてミニトマトの世話をしている姿を見て、ミニトマトの栽培の学習から植物を育てる喜びを味わうとともに命の大切さを学んでいるんだなと感じました。**

育てているミニトマトは小さいけれど、そこから「命」というとても大切で大きなことを学んでいました。

## 「やる気」の象徴 ～メディアセーブウィークの実践～

本年度も保健委員会の提案で、期末テストに向けた「メディアセーブウィーク」が実施されました。提示されたいくつかのメディアセーブの中から自分に合ったコースを選択し、期末テストに向けて各自が一生懸命取り組みました。ある先生から、「**取組がとてもよくなり、自己評価でよい評価が付く生徒が多くなりました**」という話を聞きました。また、保健委員が最後の2日間のノーメディアデーのお知らせを放送するのに、当日するのがいいか、前の日にするのがいいか、ということを生徒が聞くと、生徒の方から「**前の日にした方が、明日からノーメディアデーだと意識できていいと思う**」という意見があり、前日に放送しました。

こうした生徒の主体的な取組により、ノーメディアデーの効果が上がってきていることが、とても素晴らしいことだと思います。「やる気」がどんどん育っています。

### 《コラム～校長室より・校長の独り言～》

ある日の掃除の時間、私も校長室を掃除するため職員室掃除の生徒に「職員室の掃除道具を借りても大丈夫かな」と、声を掛けました。すると、ある生徒が「掃除道具は、たくさんあるので大丈夫です」と言いながら**真っ先に掃除道具入れに行き、ほうきとちり取りを私に渡してくれました。**その優しさに、自然と「**ありがとうね、助かったよ**」と感謝の言葉が出ました。

その優しさのお陰でやる気が増し、いつもより丁寧に校長室をきれいにすることができました。**優しさは、周りの人の「やる気」も高めてくれます。**



